

第66回八重山中学校夏季総合体育大会 軟式野球競技

- 1 参加資格 ① 地区中体連に加盟している学校で、大会運営に協力できるチーム。
また、硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。
- ② 選手の引率は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。
監督等は出場校の校長・教職員(常勤)・部活動指導員とする。教職員以外のコーチについては、学校長の認めた者で、地区・県に登録されたものとする。但し、ベンチ入りについては1名のみとする。
- ③ 県・地区中体連の規定に沿った中学生らしい身なり・容姿であること。
- ④ 参加資格の特例を認める。県中体連会報の「開催基準8(6)複数合同チーム」を参照。
- ⑤ 地域クラブ活動の参加資格については、沖縄県中学校体育大会開催基準「特別規程」による。
- 2 競技方法 トーナメント方式とする。
- 3 競技規則 2025年公認野球規則及び大会特別規則に則って行う。
- 4 大会規定 ① チームの登録は、選手20名、監督1名、コーチ2名、記録員1名の24名以内とする。
但し、外部コーチが入る場合は1名に限る。
- ② 背番号は1～20番を使用し、原則としてポジション順とする。
- ③ チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォーム・帽子を着用する。
尚、監督・コーチのシューズについて同色とする。(高校野球対応のものとする。)
- ④ 試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。
但し、決勝は5回以降7点差とする。また、日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合(サスペンデッドゲーム)を適用する。
- ⑤ 全試合とも延長戦(8回以降)はタイブレーク方式(無死1・2塁継続打順制)を適用する。
勝敗を決するまでこれを続ける。
- ⑥ 投手の投球制限を適用する。【競技者必携】
- ⑦ 投手の12秒ルール及び20秒ルールの取り扱い基準を適用する。【競技者必携】
- ⑧ 夏季総合大会においては、ポイント制を採用しているため、ポイントの高い順にシード校を決定する。
- ⑨ 新人総合大会においては、地区新人大会(連盟主催)の結果をもとにシード校を決定する。
※同一校2チームまで出場可能。(同一校のA・Bを同じブロックに入れない。)
- ⑩ 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を発しない。
- 5 申込期日 令和8年 5月 7日(木)午後5時必着のこと。
- 6 申込先 石垣市立石垣第二中学校内 八重山中学校体育連盟事務局 荷川取 保 宛
- 7 試合球 全日本軟式野球連盟公認球(内外ベースボールM号球)とする。
- 8 表彰 優勝チーム(賞状・優勝旗)、準優勝チーム(賞状)を表彰する。
個人賞は決勝進出チームから優秀選手・敢闘(各1名・賞状)
打撃賞は1位のみ(賞状・トロフィー)を表彰する。打撃賞に関しては規定打席
(1試合×2打席以上:準決勝戦・決勝戦までとする。但し、タイブレーク方式は除く。)に達している選手。
- 9 複数合同 ① 複数合同チームの編成基準に関しては、中体連会報に準ずる。
- ② 複数合同チームの編成については、複数合同チーム申請書(様式1・2及び名簿)を作成し
大会申し込み前(指定日)までに地区中体連事務局に提出する。
- ③ 選手以外のベンチ入りについては、監督(両校のうちどちらか1名)、コーチ(両校から各1名)
マネージャー(両校から各1名)、合計5名までとする。マネージャーは生徒とする。
- 10 その他 ① 専門部の申し合わせ事項と大会特別規則については別に定める。
- ② 予備日として平日(午後4時以降)行う場合もある。
- ③ 試合終了後、勝利チームの校歌斉唱を行う。
- ④ 各チーム(応援団を含む)のゴミは持ち帰ること。最終試合のチームは試合終了後ダッグアウト、
スタンド等の清掃とグラウンド整備を行うこと。

大会細則

1. 試合時間 (1) 第1試合開始時刻は、開会式終了後大会本部で協議の上、決定する。(試合時間は90分と計算し、その60分前に集合すること。)開場時間については球場長に確認すること。
(2) 連続試合の場合は30分間の休憩をとる。
2. オーダー (1) オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(4部提出)
交換 (2) 第1試合の打順表の交換及び攻守決定は、試合開始予定時刻の45分前に監督立ち会いの上、主将が行う。第2試合以降は、前の試合の4イニング終了時に行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合登録メンバーから代理を認める。選手名にはふりがなも付けること。
3. ダッグアウト (1) 抽選番号の若い方を原則として1塁側とする。但し、連続試合の場合はその限りではない。
(2) 学校長、監督、コーチ、記録員、選手以外のベンチ入りは禁止する。
(3) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止する。
(4) ダッグアウト内のメガホンは1個とし、使用は監督、コーチのみとする。
4. ゲーム前ノック (1) シートノックは後攻めより5分間とする。ノッカーは選手と同じユニフォーム・シューズを着用し、監督・コーチが行うこと。但し、天候等の理由から行わない場合もある。
(2) ノック時のボール拾いを、登録外の生徒(5名以内)で行ってもよい。但し、ユニフォーム・ヘルメットを着用すること。
5. 応援 (1) 地区中体連の規定及び各学校の規則に沿った中学生らしい身なり・容姿で参加する。
(2) 中学生にふさわしい応援をする。(相手に対してのやじ等は禁止する。)
(3) 応援は攻撃側のチームを優先とする。
(4) 投手がセットポジションに入ったら声かけを行わない。
6. 守備側と攻撃側のタイム回数制限 (1) 守備側のタイムの回数制限は1試合3回までとする。
(2) 監督の守備タイムは1試合3回までとする。
(3) 攻撃側のタイムの回数制限は1試合3回までとする。
(4) 延長戦の場合、タイムは1イニングに1回までとする。※攻撃・守備ともに1回ずつ。
9. その他 1 球場内でのアップは、チーム統一のTシャツでもよい。ただし、シートノックからは試合用のユニフォームとする。
2 球場内のバッティング練習は、バント・トスバッティング(投手と打者のみ)までとする。
3 試合中のアップ(キャッチボール)については2組(4名以内)とする。
4 球場での芝面利用の際、試合及び正規のシートノック以外は、芝生保護のためスパイク以外のシューズで行うこと。
5 チームの選手(監督・コーチ含む)は同色・同形のユニフォーム・帽子を着用する。なお、監督・コーチのシューズについても同色とする。コーチ(教職員)の服装は平服(ワイシャツまたはポロシャツ、スラックス、選手と同一の野球帽子)でもよい。また、記録員についてはユニフォームか制服とする。
6 手袋は原則として「白」または「黒」を主とした高校野球対応の手袋を使用する。また、リストガード(一体型も含む)の使用は認めない。(新人大会での使用は認める。)
7 その他確認事項については、大会1日目の朝に行われる役員ミーティングで決定する。